



[総合司会] 三尾裕子 (日本学術会議第一部会員、慶応義塾大学名誉教授)
[開会の挨拶] 大串和雄 (日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授)

第1セッション 女性の政治参画を進めるための 制度改革と環境整備について

[報告]

三浦まり (日本学術会議連携会員、上智大学教授)
武田宏子 (日本学術会議連携会員、名古屋大学大学院法学研究科教授)
糠塚康江 (日本学術会議連携会員、東北大学名誉教授)

[コメント]

中川正春 (政治分野における女性の参画と活躍を推進する議員連盟元会長)
山崎摩耶 (クオータ制を推進する会)
西川有理子 (パリテ・アカデミー)
能條桃子 (FIFTYS PROJECT)
濱田真里 (Stand by Women)

第2セッション 政党と国会におけるさらなる改革に向けて (国会議員によるパネル・ディスカッション)

[登壇者]

山本佐知子 (自由民主党)
高木かおり (日本維新の会)
井戸まさえ (国民民主党)
つじもと清美 (立憲民主党)
豊田真由子 (参政党)
伊藤孝江 (公明党)
畑野君枝 (日本共産党)
福島みずほ (社会民主党)

[モデレーター] 三浦まり

[閉会の挨拶] 島岡まな (日本学術会議第一部会員、大阪大学教授)



議会と政党は何をすべきか

日本では意思決定における女性の参画が著しく少なく、この改善が喫緊の課題となっている。特に立法に携わる政治分野において男女比が均等になることは、経済、社会、教育、研究など他の分野の女性参画を進めるためにも重要な課題である。日本学術会議では、改善策を講じる責任主体としてとりわけ重要である政党と議会に焦点を当て、どのような方策を採ることが効果的なのかを検討し、「見解 女性の政治参画を進めるための制度改革と環境整備について」を2025年11月17日に発出した。本シンポジウムでは、「見解」の内容を報告し、国会・政党関係者および市民とともに議論を深める。

[日時] 2026年 **3月22日(日)** 13:30~16:30 **<参加無料>**

[会場] 日本学術会議講堂 (東京都港区六本木7-22-34)

[申込] 会場参加は不要です。オンライン視聴 (Zoom Webinar) には事前登録が必要です。
下のリンクまたはQRコードから申し込んでください。

https://sophia-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_B-X35dGbQzyRUjo1Bo2uYw

[問い合わせ先] paritypolitics2026@gmail.com

[主催] 日本学術会議政治学委員会民主主義の深化と退行に関する比較政治分科会、
法学委員会ジェンダー法分科会、第一部総合ジェンダー分科会

[後援] 内閣府男女共同参画局

[協力] 科研費 (24K04726、代表:三浦まり)



ハイブリッド開催